

市議会だより おおまち

179号

令和2年8月1日発行

6月定例会号



議会だよりライブライリーで過去の
議会だよりも見ることができます

特集 | 市の仕事をチェック！

| | |
|---------|-------|
| 事業選定結果 | 2ページ |
| 視察報告 | 12ページ |
| 意見書提出 | 13ページ |
| 委員会審査報告 | 14ページ |

表紙写真 | 野菜づくりで元気づくり

森山先生の指導で野菜作り教室を開いて11年目。作り方やコツの説明を受け、このあとは実技指導でした。野菜づくりが元気づくりになることを願うものです。

撮影者：議会だより編集委員会



令和元年度事業の成果と課題は！

ここに注目！

第1分科会(総務産業委員会所管)

注目の視点

- 大和** 平成30年度事業で改善依頼をした後、どうなったか検証したい。
- 中務** 過疎地域企業者支援事業のチェック体制と補助金返還も含めた要綱改正の検証をするため。
- 高橋** この事業は本当に地域振興の効果を上げているか不明。詳細調査のため。
- 降旗** 北アルプス国際芸術祭、アーティスト・イン・レジデンス事業について、事業目的が達成できているか確認したい。
- 中務** アーティスト・イン・レジデンス事業の運営を芸文団体へ委託した効果を検証するため。
- 本末** 振興作物の方針が20年以上変わっていないので。
- 大和** 持続可能な地域農業振興への取り組み方策の確立が求められる。
- 二塚** 農業は大町の成長戦略の要。検証を要す。
- 大和** 新規事業者の支援状況について検証したい。
- 降旗** コワーキングスペースの状況について確認する。
- 高橋** 市内に進出する企業は、固定資産税相当額を補助する・しないに関わらず、大町市を最適地として来ている。市の利益を放棄する理由はないのでは。
- 富田** 雇用機会の拡大がどう図られているか検証したい。

■評価対象とした10事業の概要

■地域住民による地域運営を目指して

美麻地域振興事業

■芸術で市の魅力発信、交流・関係人口の増加を

芸術文化振興事業



2017芸術祭作品 光る霧の輪“ArcZERO”

■地域農業の担い手と農地の課題解決に向けて

農業振興事業



新規就農者への営農指導

■雇用促進、起業支援等で地域経済を元気に

創業支援事業

■雇用機会の拡大と地域産業経済の活性化を

工場等誘致振興助成事業

9月の決算審査に向け、今年度の決算審査特別委員会が設置されました。この特別委員会では、昨年度のお金の使い道を審査する決算審査と事業の成果を評価する事務事業評価を行います。評価にあたり、166の政策的事業のうち、特に検証が必要と考える事業を分科会ごとに5事業選定しました。これから行われる事務事業評価の結果と決算の審査内容は、次号でお伝えします。

第2分科会(社会文教委員会所管)

注目の視点

■情報化に対応できる情報活用能力の育成を

ICT活用推進事業



タブレットを使っでのプログラミング学習

■心の健康を維持、自殺防止につなげる

精神保健事業

■障がい者の社会参加、地域との共生を支援

その他障害者福祉サービス事業

■ひとり親家庭、障がい児を抱える家庭を支援

児童福祉扶助費

■児童・生徒の健全な成長と地域の活性化を

山村留学支援事業



いきいきとした表情をみせる山村留学生

大蔵 今年度予算で、全児童・生徒1人1台を貸与することから、どのように学習に活かすのか検証が必要。

本田 教育へのICTの活用の機運が高まっている。これまでの事業の取組をしっかり検証することで今後のあり方を探っていきたい。

神社 社会的不安により個人や学校現場における悩みを持つ生徒や教師が増えているのではないかと。

本田 ストレス社会である上に、コロナによる失業、人権侵害等が市民の心の健康に大きな負の影響を与えている。しっかり検証したい。

平林 社会経済活動への参加が充実した事業となっているかを検証したい。

博 ノーマライゼーション社会の構築には、より相談内容を精査し障がい者の気持ちを大切にすべき。

岡 毎年様々な事業が実施されているが、事業目的の達成度が不明である。

岡 子ども食堂のあり方について検証が必要。

本 子どもの居場所のあり方など、食を支える仕組みはフードドライブを定期的に行うなど考え直さなくてはいけないのでは。

神社 長い歴史があり貢献度もあるが、受け入れ家族の問題など検討課題があるのではないかと。

中村 歴史ある八坂の取り組みが危機的状況。卒業生たちからも事業継続の声が上がるなか、議会、委員会でもしっかり考えたい。

■事務事業評価実施

決算審査特別委員会での審査を経て最終評価決定! → 審査結果は次号!

発災直後、時系列に沿って
市民行政の行動計画が必要



総務産業委員会 二條孝夫が問う

発災時に市民の命を守るには

問 災害発生後の72時間3日間の初動が市民の命を守るために重要。命を救う72時間3日以内の防災関係者、市民の行動計画は出来ているのか。

答 まずはご自身の身を守ることを第一に安全な場所へ避難していただく。市は関係機関と連携し、地域防災計画や業務継続計画に基づき、救急活動、行方不明の捜索等を実施する。しかし、命を守る72時間以内の防災関係者や市民の行動計画は出来ていない。市民の皆様を生命を守る中で、適切な対応が図られるよう、今後、具体的な行動計画の策定について検討する。

●関連質問 (一本木委員)

問 大規模停電発生時の情報伝達と対応は。

答 広報車等の巡回による告知放送や緊急メール等による情報発信など、様々な手法を駆使し、情報伝達に務める。

●関連質問 (高橋委員)

問 カトレヤなど特殊な福祉避難所とは、普段から具体的な打ち合わせが必要と思うがどうか。

答 発災期における開設・運営等について当該施設と協議・調整をしたい。

問 発災後の防災機関や市民の取るべき行動を時系列(タイムライン)で作成し、被害を最小限に抑えることが必要ではないか。災害の規模、場所、時を記し、個がどのよう行動すれば命が助かるかのタイムラインを作成するのに、①目黒巻というものがあ。有効に使えないか。

答 ハザードマップなどの防災情報を基にタイムラインを事前に作成しておくことは、余裕のある避難行動につながり、逃げ遅れゼロを進めるうえでも大変大事で有効である。目黒巻という手法も取り入れ、当局としても今後、本格的に導入していく。また、業務継続計画(BCP)地震対策編の

一般質問は「代表質問」と「個人質問」があり、代表質問には、各会派の代表が行う「会派代表質問」と、委員会の代表が行う「委員会代表質問」があります。

中で、最悪の被害想定を予想し、職員初動がタイムラインに沿って記されている。これに基づき職員の研修も深めていく。

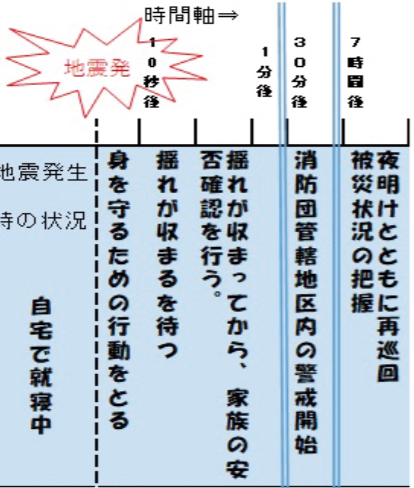
問 立川市では、住民一人一人が災害時に命を守るためのマイタイムライン作成講習会を開いている。この作成には自治会単位での参加が不可欠である。その意味で、今までの②展示型の防災訓練から市民主体の訓練に変えることは出来ないか。



毎年の展示型防災訓練
住民主体のタイムラインに沿った防災訓練に変えるべきでは

答 住民参加型訓練や、避難所開設・運営訓練、さらには、自治会や自主防衛会で実施される防災訓練等において、市民のご理解をいただき、マイタイムラインの普及を図る。市の防災訓練においても、被害想定に基づくマイタイムラインの活用を早急に検討し、市民が自らの行動を具体的にイメージして、主体的に参加できる訓練になるよう努める。

その他 コロナ感染拡大時に災害が発生した場合の避難所確保について質問した。



目黒巻

| | |
|-------|-----------|
| 災害の種類 | 地震 |
| 記入日 | 2020.6.26 |
| 発生日 | 11月22日 |
| 天気 | 曇り |
| 時刻 | 10:08 |
| 所属等 | 消防団員 |
| 記入者 | 大町太郎 |

発災から時間軸に沿って自らの行動を可視化できる「目黒巻」

個人質問

聴覚・視覚障がい者、一人暮らし高齢者等へ配慮を！



政友クラブ 岡 秀子(ひでこ)が問う

様々な方々へ多様な対応を

問 聴覚障がい者はマスクの着用により、相手の口の動きを読み取るのが困難で、視覚障がい者は表示等が確認できず、ソーシャルディスタンスが取りにくい。新しい生活様式を前提とした今後の施策に、障がい者の視点を踏まえてはどうか。

答 聴覚障がい者へは、筆談やIT機器を使用した音声認識ソフトの活用等、代替手段の検討を進める。視覚障がい者へは、体に触れる従来の支援方法は変えられないので、衛生管理を徹底し、今までどおりの生活が維持出来るよう取組む。

問 一人暮らしの高齢者は、外出自粛が長引いたことで、運動不足や体力低下が懸念される。生活習慣病や認知症の発症や重症化も考えられる。高齢者の見守り強化を、さらにもどのように取組むか。

答 今月から80歳以上の高齢者を対象に月2回程度、電話による健康相談や運動指導を行う「おたっしやコール」を開始した。日頃からの近隣地域の繋がりが重要である。関係機関と連携し住民相互の支え合う、見守り活動に取組む。

問 本年4月より「電話等初診料」が新設された。一度も受診したことのない医療機関にいく初診も対象。電話等で医師と話すことで診療が受けられる。受診を控えている外来患者さんにPRしてはどうか。

答 ポスター等で積極的に周知を図る。

一人暮らし高齢者の孤立を防ぐ工夫が望まれる

用語解説 ①目黒巻(めぐろまき)

東京大学目黒公郎教授が考案した災害状況を想像する力を高めるツール。最終形が巻物の様になることから、「目黒巻」と呼ばれる。

用語解説 ②展示型の防災訓練

救助技術や訓練状況を参加者に見せる、見学を主とした訓練

個人質問

第2波感染が予測されるなかで、検査体制の強化を！

日本共産党 大町市議員 平林 英市が問う



PCR検査の対象拡大を図れ

問 コロナ対策で、PCR検査センターの機能充実が重要である。

答 大町市が設置主体になり、大北医師会と連携して運営する。ドライブスルー方式により、屋外により問診と検体採取にあたる医師、看護師4名体制を整えた。今後、屋内施設の整備を行う。

問 PCR検査の重要性は感染拡大を抑えることにある。そのためには、軽症を含むすべての症状のある人の検査と医療従事者、入院患者さらに介護従事者を対象にした検査対象の拡充を図ることが重要である。

答 無症状・軽症の人が8割と言われている。多くの検査をしない限り全体の感染実態がつかめないのが現状。医療従事者・福祉施設職員等を優先的に実施して医師が必要と判断する対象者で感染者を把握する。

問 大町病院は患者の受診抑制等で今後経営的に厳しい状況が予想されるが、国に財政支援を求めめるのか。

答 体制の整備を含め、長期的支援も必要。状況に応じて県・国の支援が不可欠であり、全国自治体病院協議会を通じて早急な対応を国に要望している。



PCR検査センターが設置された大町病院

こんな時だからこそ「市長のリーダーシップ」が重要

創生みらい 降旗 達也が問う



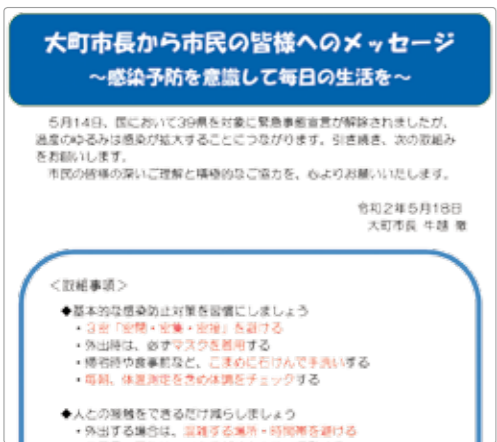
市民の生活・命をどう守るのか

問 コロナ禍に対する、市の支援策等について「対応が遅い」、事業について中止等の「判断・決断が遅い」という声が上がっている。このような状況の時こそ「市長のリーダーシップ」「発信力」が重要と考えるが、コロナ禍にどう向かい合い、市民の生活・命をどう守るのか。今後の目指す方向、今後のかじ取りについて伺う。

答 基礎自治体の長としては、強い発信力を発揮する役割を担うことはできない。今までは給付金などを重点とした直接的な支援策だったが、今後は、今ある制度の改善充実と、新たな制度の構築による地域経済の再生、さらには持続可能な社会経済構造の構築に向け、戦略的な取り組みが必要と考える。ウイルスの蔓延により、罹患した方や救命救急の最前線で働く医療従事者への誹謗中傷や差別など、あってはならない事象が起きており、人間性の回復も急務である。地域の絆や、人と人との絆をどのように回復していくかも重要な課題である。今後、戦略的に取り組む具体的な施策を取りまとめた「アクションプラン」を策定し、市を挙げ実現に向け取り組みを進めていく。

問 今、市民の求めているのは、「市長の熱いリーダーシップ」だと考えるが。

答 言葉や態度に表さないまでも、それにも負けない熱い気持ちは持っている。だからこそ、今日まで市民にこたえられるよう、一生懸命取り組んできた。副市長も心一つにして、全庁挙げて取り組んでいく。



市長の市民に対する、想いのこもった熱いメッセージが必要ではないか！

水質汚染や災害の危機管理対応策が不明確だ

無所属クラブ 大和 幸久が問う



水道ビジョンの見直しを求める

問 大町市は令和元年から令和15年までの水道ビジョンを公表した。重大な問題が多く、計画自体を見直すべきだ。主な点は

①過大な人口推計：国は、17年後大町市の人口は1万9,440人に減ると見るが、大町市は2,315人多い21,755人とし、過大な人口計画で、過大事業になる。②過大計画で料金値上げに：15年間で総額63億7千万円の事業を予定し、令和15年には給水原価で33%相当の料金値上げ計画だ。③請負業者の成果品は適正か：水道事業認可申請書と水道ビジョンは同一の会社が担当した。4億4千万円余の三日町配水池は1枚の図面もなくして事業申請された。水道ビジョンは核心部分の数値が多数箇所訂正されたが、訂正前にパブリックコメントに出され無効だ。2件とも全面的な見直しをすべきだ。

答 数字に齟齬があれば、正しい数値に訂正していく。

問 事業管理者の市長は、請負業者の監理・監督や水源の危機管理に重い責任がある。値上げせず、高齢世帯やひとり暮らしに優しい「小口料金」を作り、コロナ後の持続可能な市民生活を実現すべきだ。

答 水導水に濁りはないので安心だ。国の基準に従い検査するよう指示している。

コロナ対策の問題点

問 コロナ拡大防止支援金10万円の対象事業者にすべての農家を入れるべきだ。

答 兼業農家は、支援の対象にならない。



欠陥だらけの水道ビジョンだ。コロナ禍では、使用量の少ない家庭向け低料金設定も必要

一般質問は市の行政全般に関して議員がその考えや意見を聞くものです。ここでは議場でのやりとりを要約してお伝えします。

コロナ禍で負担のあった
家庭と教育現場に手当を



政友クラブ 中村 直人が問う

学習の遅れを どう取り戻すか

問 コロナ禍の学習の遅れをどう取り戻していくか。

答 夏休みの短縮や行事の調整などで授業時間は確保できる。

問 休校では、親が子供の勉強を見る必要があり、大きな負担になった。学習の進捗も家庭ごとばらばらになってしまふ。家庭学習の手引きで対応ができないか。

答 今回のようなケースにも備え、家庭学習の手引きを活用することを考える。

問 それに加えて、第2波にも備え、家でも先生と顔を合わせて学習ができる「双方向型」のICT環境が重要である。導入は。

答 生徒に一人一台の端末導入を行う。学校にもマイクとビデオ等を設置し顔の見

える授業も可能であるようにする。

問 導入においての現場の先生たちの負担を減らすために、外部の専門家を活用できる国の制度などを使っていくべきではないか。

答 現在市にある支援制度を使っていく。国の新しい制度の活用も考える。

問 学校教育だけではなく、幼児教育や保育においても、家庭や現場の負担が大きかった。ストレスによって家庭がばらばらになりそうだという悲痛な声も聞いた。それらの声をあつめ対策として備えられないか。

答 責任を感じる。アンケートなどを行い懸念される第2波に備える。



教育現場や家庭の負担が大きくなる時こそ、地域で子どもを見るコミュニティースクールの体制も重要になる

空家バンク等を改革し、
移住希望者の心をつかめ



創生みらい 傳刀 健が問う

在宅勤務による 移住者獲得策は

問 テレワーク推奨の中、地方への人の流れが予想される。今後の対策は。

答 移住施策を展開する大きな追い風と感じている。自宅は無論、市の設置するコワーキングスペース「北アルプスエントランス」を活用し、支障なくリモートワークができることを情報発信していく。また、第3期定住促進ビジョンへの反映を視野に入れ、終息後の新しい生活スタイルに柔軟に対応した移住施策の展開を目指す。

問 コロナ差別から移住者を守る方策は。

答 不当な差別や偏見、いじめ等が行われないよう呼びかけを行ってきた。今後も市民との交流事業を通じて、市民の意識醸成を図り、移住者から移住してよかった

と思われるような取り組みを進める。

問 空家バンクの情報が少ないが、査定方法と掲載可否基準は。

答 掲載物件には、不動産業者が査定を行い仲介する間接契約と、市が査定し、所有者と利用者が交わす直接契約がある。

問 八坂美麻地区の掲載が少ないが、どのように改善させていく予定か。

答 所有者確認と意向調査を進め、空家バンクの登録を勧める。

問 コロナ終息後における、今の状況が市が発展するためのターニングポイントとなるような施策展開についての考えは。

答 恵まれた大町の環境を周知させ、市街地活性や子育て環境の充実を図り移住促進につなげていく。



空家バンクHPは移住希望者にとって大きな入口の一つ。入口は充実させねばならない

大町市温泉開発の担う
給湯事業の継続について考えは



政友クラブ 山本みゆきが問う

観光の要である、 温泉郷存続へ

問 温泉の供給を行う会社である大町温泉開発が経営困難であると聞いたが、給湯事業の継続はどうするのか。市の考えは。

答 温泉は不可欠。状況を注視し、安定供給に向けて、具体的な検討が必要ならば、市議会と十分相談をし、考えていく。

問 温泉郷の魅力を創り出し、誘客に繋げるために、市の設備である森林劇場の土地を市のものとし、整備すべきではないか。

答 森林劇場周辺を含めた活用方策は、宿泊施設と協議し、検討を進める。

問 温泉郷内の道路には給湯管があり、市道として除雪の管理などをしており、道路を市のものとして考えるべきではないか。

答 道路敷の所有者のほとんどが温泉開

発株式会社であり、恒久的かつ主体的な管理の方策について、今後、考えていく。

問 温泉郷の玄関口でもある酒の博物館で地酒を紹介するなど、市の観光資源として考えることは出来ないか。

答 民間のもので再開の見込みはないが、新たに再開した際の運営や維持管理等、今後の課題として、検討する必要がある。

問 温泉郷を支える観光協会の在り方は。また、大町市全体の観光協会の再構築に取り組むときに来ていると考えるが見解は。

答 大町市観光協会は組織強化を目的として法人化を進めており、法人化の先には大町温泉郷等、他団体との連携も視野に入れているものと承知している。観光協会の強みを生かした支援活動に取り組む。



コロナ禍において観光協会の力が求められる中、組織の再構築も考えなければならない

失職による生活困窮者を生む前に企業を救う支援策を



政友クラブ 大竹真千子おたけまちこが問う

コロナ禍での経済支援策を問う

問 国の持続化給付金の入金時期が読めず資金繰りに苦慮するケースがある。スケジュールがわかるような対応への要望、入金までのつなぎ的な措置は用意できないか。

答 申請から入金までの期間については、関係機関を通じて要望していく。持続化給付金等の給付までのつなぎの措置については、短期利用も可能である市の制度融資資金の感染症対策特別資金等を活用いただきたい。

問 今後ビジネスモデルの変更を余儀なくされる業種もあり、新たな業態のスタートアップを支援する補助金等はないか。

答 市の既存の制度である、起業支援補助金や、空き店舗の改修費用や家賃を補助する空き店舗活用事業がある。県でも持続

学校行事は、中止せず感染防止を工夫して実施すべき



日本共産党 宮田 一男みやた かずおが問う

授業時数遅れへの対応は

問 コロナ禍により長期休校となったが、子供たちの様子はどうかであったのか状況の把握はされているのか。

答 分散登校で、学習指導や健康管理を行い、必要に応じて家庭訪問も実施した。

問 授業時数の遅れにどう対応するか。

答 遅れは100時間あり、各学校において年間計画を見直し、夏季休業の短縮や行事の縮減等により対応が可能である。

問 子どもたちの成長のために必要な学校行事は、安易に中止せず感染防止を工夫して実施すべきではないか。

答 運動会や音楽会などの諸行事は、学校教育の中で重要な学びの一環であるので「3密状態」に十分配慮し、感染防止に努め開催する。

大町病院のコロナウイルス検査機器購入の準備状況は



神社 正幸じんじや まさゆきが問う

市は感染症対策の一層の強化を

問 6月8日より大町病院に感染症外来・検査センターが設置されたが、コロナウイルス検査機器の購入の見通しは何時か。

答 国の補助事業、県の感染症緊急包括支援事業での補助金(10分の10)を申請し、PCR検査機器購入を7月以降早い段階での整備を目指す。

問 コロナ感染症による病院再建計画への影響をどのように分析しているか。

答 4・5月の収益は前年5%割れとなった。コロナ感染症は、今後予断を許さない。健全計画への影響は大きい。職員の精神的疲弊が無いように、より勤務環境の整備に取組み、仮に感染拡大がおきても、市民の皆さんが安心して受診いただけるよう医療体制を維持していく。

化補助金の上乗せ補助がある。

問 多くの企業で、今後コロナ対策のための備品購入等が必要となることが考えられるが金銭的支援策はないか。

答 新しい生活様式に適応した事業形態への転換を促進するために、国の持続化補助金があり、県も上乗せ補助をしている。市は国・県の制度を有効的に活用してもらうよう、制度内容の周知徹底を図り、既存の補助制度や融資制度の活用を勧めていく。

問 指定管理者への支援策はないか。

答 市の新型コロナウィルス拡大防止支援金の対象とする旨の案内を送っている。宿泊を伴い、利用料金を収益の主とする施設については、本年度の決算見込みが固まった段階で協議を行う予定としている。

治水対策について

問 台風19号による千曲川決壊原因は。

答 堤防越流水による川裏法尻部の洗堀により、決壊に至った。

問 千曲市では、霞堤からの流入水により住宅が浸水したが、霞堤は治水に有効か。

答 霞堤は伝統的な治水工法として用いられているが、堤防の強化・河道掘削と合わせ、再評価の動きがある。

地方分散の流れを好機と捉え定住促進を

問 コロナ禍で、図らずも地方分散型社会への流れが起きている。人口創出事業のチャンスと捉え、大町市での生活モデルを、あらゆる情報手段にて発信すべきである。

答 これまでの発信に加え、ユーチューブで「大町暮らし」の発信やPR動画も活用して積極的なプロモーションに取り組む。

問 市長をトップに大町市の人材を総動員して企業の要望を満たせる大町市をアピールし、企業誘致に一層努力すべきでは。

答 地域資源や北アルプスの景観などを生かすことのできる企業や研究機関などへの誘致活動を全庁挙げて取り組んでいく。



用語解説

③川裏法尻部の洗堀 堤防を越えた水により堤防の裏面が削られること

おつがいタクシー

「テイクアウトしたいけど取りに行けない」「取りに行く手段がない!!」
という方に代わって
テイクアウト商品をお客様の代わりに
ご自宅までお届けします。
「配達を手伝ってほしい!」
という店舗様をお手伝いするサービスです。



他市の取り組み「タクシー×飲食業」。タクシーがテイクアウト代行を。業態の変化が迫られる



机上の学習のみが学校での学びではないのでは。運動会なども子ども達の成長には大切



大町病院でPCR検査装置購入へ。市民の安心・安全な暮らしの確保。

介護施設や障がい者福祉施設の新型コロナウイルスの影響は

公明党 太田 昭司が問う

コロナから市民の命を守れ

問 介護福祉施設では、利用者を抱きかかえながらサービスを提供している。この方々こそ感染症から守るべきだ。市はどのような支援をしているか。

答 5月に介護施設等に対して、高濃度アルコールやマスクを「社会福祉事業応援パック」として届けた。今後も介護現場のニーズを把握し必要な支援に努める。

問 障がい者福祉事業所の状況はどうか。障がい者からの相談は増えているか。

答 小中学校の一斉休校により日中の利用者が増加し、各事業所のスタッフの確保が困難であったと聞く。施設の利用を自粛した障がいのある子どもや家族の負担も大きかった。また、授産施設や作業所の仕事



接触の多い介護福祉・障がい者福祉の従事者と利用者を、感染リスクから守るべきだ

の受注が減少し利用者の工賃も減少した。今後も施設の現場の状況と障がい者と家族の状況をしっかりと把握するとともに、相談者への丁寧な対応に努める。

問 コロナの影響で解雇や雇い止めにあつた人は全国で2万人を超えた。また悪質な詐欺も横行している。市民の生活と命を守るための相談支援の体制はどうなっているか。

答 新型コロナウイルスの影響により収入が減少するなど、生活への不安や悩みを抱えて市役所に相談に来る方が増えている。丁寧な対応に心がけ、個々の相談に即した対応に努めている。相談支援のための職員研修を開催するとともに、市民のための「Junko」・法律・仕事のなんでも相談会の開催に向けて、現在準備を進めている。

■視察報告■

サントリー工場の姿見える

「サントリー天然水北アルプス信濃の森工場」建設現場視察

6月22日、サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場の建設現場を視察してきましたので報告します。

■計画概要

場所は国営アルプスあづみの公園大町・松川地区の東側敷地面積は40ha、建物延床面積は40960.74㎡。

■進捗状況

建物は全体の40%程が完成し、倉庫棟を除く全体の姿が見えてきました。来年5月24日の生産開始に向け、現在は約260人が工事に携わっており、コロナ禍においても徹底した管理のもと工事は進捗していました。

■所感

建物には、カフェ棟やレセプション棟などのPR棟があり、来年の夏には、大町市の豊富な水資源を大勢の方に知ってもらうための新たなスポットとして注目されます。また、隣接する国営アルプスあづみの公園とのイベントや企画を催すことで、相乗効果が期待でき、大町市の雇用増を含め、産業全体に新しい風が吹くことを望みます。



クレーンが立ち並び建設が進む現場

■市議会 意見書提出■

コロナ対策支援などを国へ要請

新型コロナウイルス感染症対策に関する支援の強化を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大により、大町市は宿泊業や飲食業等の経営が逼迫し、雇用の悪化や経済活動の悪循環により壊滅的な損失が生じています。このような状況を踏まえ、大町市議会は下記4項目について国へ意見書の提出を議決しました。要旨を報告します。

1. 医療・福祉・教育等を安心・安全に事業継続するための施策の強化と、治療薬やワクチン等の開発を早急に進めること。
2. 観光産業事業者へ事業継続のための運転資金の確保・支援を講じること。
3. 地域経済への影響を最小限に食い止めるため、小規模事業者等への給付制度の実施と、営業自粛要請に伴う休業補償や雇用の維持に対策を講じること。
4. 自治体独自の事業に対し、財政措置を講じること。

他に【オンライン本会議の実現に必要な地方自治法改正等を求める意見書】と【医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書】を議決しました。



議員が質した6月定例会

こんなことが決まりました

議案第44号 令和2年度大町市一般会計補正予算

我がコミュニティを元気に

議案の概要 本年度予算の補正。コミュニティ活動支援として「自治総合センター」から助成を受け、同額を支給するもの。

総務産業委員会審査

問 コミュニティ助成事業では、大新田町自治会の子供神輿や、清水区自治会の公民館の座椅子や獅子頭など、祭典用品への補助となっているが、具体的内容は。
答 内訳は笛や獅子頭、法被・アンプ。

問 マイク・スピーカー・テーブル・座卓等々。この事例は他地区にも適用されるか。
答 自治総合センターの定める要件を満たせば、対象となる。

結果 全会一致で原案可決

議案第48号 令和2年度一般会計補正予算

小中学生ひとり1台 端末機貸与へ

議案の概要 本年度予算の補正。年度内に、児童生徒1人1台の端末整備と、学校内に高速大容量の通信ネットワークの整備を進めるもの。

社会文教委員会審査

問 購入機器の単価と台数は。
答 端末代金は1台あたり5万5千円を見込んでいる。国の補助金4万5千円に

は。
問 納期の見込みは。
答 全国一斉に購入手続きが始まるため見通しは不明であるが、9月末頃を予定している。

結果 全会一致で原案可決

家計急変のひとり親世帯へ5万円給付

議案の概要 本年度予算の補正。コロナ禍により所得が減少したひとり親世帯を支援するもの。

社会文教委員会審査

問 本事業におけるひとり親世帯とは。
答 子を養育する寡婦・寡夫世帯。
問 親が外国人でも対象になるか。
答 外国人でも日本に住居登録していれば対象となる。

問 給付要件の「家計が急変した場合」の基準は。
答 新型コロナウイルス感染症の影響を受け家計が急変した方で、令和2年2月以降の任意の1ヶ月を基準月とし、年額換算した額が、児童扶養手当の対象基準未満となる世帯。

結果 全会一致で原案可決



1人1台の端末機器が貸与される

議案第49号 令和2年度一般会計補正予算

コロナで危機に立つ大町観光支援

議案の概要 本年度予算の補正。経済対策の一環として、市内宿泊施設利用者の補助や土産物店等使えるクーポンを発行するもの。

総務産業委員会審査

問 この補正予算の観光振興費の詳しい内容は。

答 宿泊クーポンの原資が主なもの、宿泊勧誘のための5千円の補助を1万人分、3千円を5千人分、市内の飲食店や土産物店等使えるクーポン2千円を1万5千人分、総額約9700万円である。

問 温泉郷にはどのくらい観光客が戻れば立て直せるか。
答 温泉郷では通常の8月期で3万5千人程度の入込みである。最低2万人の入込みが無ければ経営は苦しい。

問 この補助で窮地を脱することができるか。
答 今後実情把握に努め、対応を考えていく。



宿泊クーポンは市民の方も利用できます

タクシー券で高齢者外出支援

議案の概要 本年度予算の補正。コロナ対策の一環として、高齢者世帯へタクシー券を発行するもの。

社会文教委員会審査

問 タクシー券の使用方法は。
答 1乗車につき複数枚使えるが釣りは出ない。1日の使用制限もない。

問 年齢の基準日と対象者は。
答 基準日は7月1日を予定。75歳以上の高齢者世帯が対象。

一刻も早い高齢者の足確保を

賛成 高齢者外出支援タクシー乗車券交付事業の対象者を「75歳以上の高齢者のみの世帯」としたことに、交通弱者の範囲が狭すぎ、公平性に疑問が残る。しかし、今事業に期待を寄せる高齢者に一刻も早くタクシー券が行き届くよう賛成す



コロナ禍でこもりがちな高齢者の外出を支援

議案の審査と採決のながれ 本会議で議案の提案↓各常任委員会に付託(審査を任せ)↓委員会審査↓本会議で審査内容報告↓採決

次ページは、討論と審議結果

令和2年6月定例会 提出案件の審議結果

◇賛否が分かれた案件

*「賛成は○」「反対は●」で表示。

| 議案番号等 | 案件 | 日本共産党 | | 無所属クラブ | | 市民クラブ | | 政友クラブ | | | | 個性がい | | 公明 | | 無 | 結果 |
|-------|---------------------------|-------|----|--------|----|-------|----|-------|----|----|----|------|----|----|----|---|------|
| | | 宮田 | 平林 | 大和 | 高橋 | 中牧 | 大庭 | 中村 | 山本 | 大竹 | 一本 | 岡 | 二條 | 降旗 | 傳刀 | | |
| 陳情第1号 | 医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 採択 |
| 議事第1号 | 医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |

議長は議事進行のため「賛成」「反対」の意思表示はしない。

◇全会一致で可決・同意・採択された案件

| 議案番号等 | 議案名等 | 結果 |
|--------|---|------|
| 報告第4号 | 専決処分の報告について 専第3号 大町市税条例等の一部を改正する条例 | 承認 |
| 報告第5号 | 専決処分の報告について 専第4号 大町市都市計画税条例の一部を改正する条例 | 承認 |
| 報告第6号 | 専決処分の報告について 専第5号 大町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 | 承認 |
| 報告第7号 | 専決処分の報告について 専第6号 大町市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例 | 承認 |
| 報告第8号 | 専決処分の報告について 専第7号 令和元年度大町市一般会計補正予算(第12号) | 承認 |
| 報告第9号 | 専決処分の報告について 専第8号 令和元年度大町市国民健康保険特別会計補正予算(第6号) | 承認 |
| 報告第10号 | 専決処分の報告について 専第9号 令和元年度大町市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) | 承認 |
| 報告第11号 | 専決処分の報告について 専第10号 令和元年度大町市公営簡易水道事業特別会計補正予算(第5号) | 承認 |
| 報告第12号 | 専決処分の報告について 専第11号 令和元年度大町市病院事業会計補正予算(第4号) | 承認 |
| 報告第13号 | 専決処分の報告について 専第19号 令和2年度大町市一般会計補正予算(第4号) | 承認 |
| 議案第41号 | 大町市税条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 |
| 議案第42号 | 大町市都市計画税条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 |
| 議案第43号 | 大町市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 |
| 議案第44号 | 令和2年度大町市一般会計補正予算(第5号) | 原案可決 |
| 議案第45号 | 令和2年度大町市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 |
| 議案第46号 | 令和2年度大町市水道事業会計補正予算(第1号) | 原案可決 |
| 議案第47号 | 監査委員の選任について | 同意 |
| 議案第48号 | 令和2年度大町市一般会計補正予算(第6号) | 原案可決 |
| 議案第49号 | 令和2年度大町市一般会計補正予算(第7号) | 原案可決 |
| 議事第2号 | 新型コロナウイルス感染症対策に関する支援の強化を求める意見書 | 原案可決 |
| 議事第3号 | オンライン本会議の実現に必要な地方自治法改正等を求める意見書 | 原案可決 |



6月定例会最終日討論の内容を要約してお伝えします

討論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのかなぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。採決の結果は、次ページの審議結果をご覧ください。

陳情第1号 医師定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情



2022年度以降、医学部定員の減員という政府の方針を見直し、医師数をOECD(経済協力開発機構)平均(人口1000人当たり3.5人)以上の水準に増やすことを求める陳情。

反対

地方の医師が増えることこそ私たちの願い

地方の医師が増えることこそが私たちの願いだ。日本全体の医師数を、なにがなんでもOECDの平均値以上に増やすことにこだわってしまえば、本質的な議論の妨げになる。(太田 昭司)

医師の増は、穴のあいたバケツに水

医師は、都市部の民間病院に集中し、周産期医療などリスクの高い診療科を敬遠している。問題は、医師全体が不足しているのではなく偏在にある。医師の増より制度を変えることが先決。(大庭 富義)

賛成

医師の長時間労働を改善せよ

病院勤務医は絶対的医師不足で過労死の危険を顧みずに働いている実態がある。国の医師定員を減らす方針は、医師の働き方改革に反している。そのためにも相対的医師増が必要である。(平林 英市)

医学部定員の減員は、医療崩壊を招く

政府の「骨太の方針」は、医学部定員の減員に言及しているが、地域医療の崩壊を防ぎ、医師不足を解消するには、医学部定員増の恒久化が必要である。(宮田 一男)

コロナ禍、先進国並みの医師増員を

安倍自公政権は、2040年には医師を2万5千人減らす方針で、この具体化が424病院の再編・減少計画だ。医師数を先進20カ国並みに引き上げるには、12万人の増員が必要となり、陳情の実現は喫緊だ。(大和 幸久)



登山者を迎えてくれるチングルマ(針の木岳)

あながき

庭先ではつつじが満開となり、アジサイにも色がつき始めた。今年の桜は例年よりひっそりと咲き寂しく散ったが、初夏の花を励みに枝葉を伸ばし、その繁る姿に私は勇気を頂戴する。「来年はもっときれいな花を咲かすよ。」私も花たちの様に今を越え成長したいと思う。

(傳刀 健)

次回9月定例会予定

- 開 会 8月25日(火) 午前10時～
- 一般質問 9月1日(火) ～3日(木)
- 最終日 9月18日(金) 午前10時～
討論・採決等

本会議の生中継

インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。録画・再放送もご覧いただけます。

大町市議会 議会中継

みんなのひろば

議員が市民のみなさまの声を取材してつくるみんなのひろばです。

今回は、野菜作りを通じ交流の輪を広げている、「たのしい野菜作り教室」参加者の皆さんにインタビューしました。



大町
参加2年目

- 1 一度受講し、疑問が出てきたので、今回2度目の参加です。
- 2 講義が面白いのはもちろん、知り合いが増え、話をする機会ができるのが嬉しいです。
- 3 家での野菜作りに活かしています。受講生の先輩や先生にいろいろ質問できることがありがたいです。



平
参加6年目

- 1 横浜から移住し9年目です。野菜のなりが悪かったり、虫がついたりとなかなかうまくいかず、課題を解決したくて参加しました。
- 2 毎年必ず新しいチャレンジの一つはしています。少しずつ賢くなり、上達して行くのが嬉しいです。
- 3 家では19種類の野菜を作っています。朝採りで食べるのが何よりの楽しみ。美味しさが全然違います。

講師 森山先生からひとこと

今年は春から秋まで19種類の野菜を栽培します。
土づくりは基本だが、その地域や時季に合った野菜を作ること、日頃の管理が大事です。



たのしい野菜作り教室 ～参加者に聞く～

- ①：参加のきっかけは何ですか？
- ②：今後の収穫、何が楽しみですか？
- ③：教わった野菜づくりのコツ、今後はどう活かしますか？



作業の合間に先生の講義も



常盤
参加3年目

- ① 家族で田畑をやっていますが、技術の向上を目指して参加しました。
- ② 会の最後にも収穫祭をし、作った野菜で豚汁をつくってみんなで食べる。参加者同士の交流は楽しいです。
- ③ 追肥や消毒などは、実際に教わってやってみないと感覚がわかりません。参加すると毎年新しい発見があります。



大町
参加11年目

- ① 荒廃していく農地を活用できればという思いで、立ち上げからかかわっています。
- ② 土を触り、野菜を育てることがストレスの発散にもなります。手をかけた分だけ良いものができ、子育てが終わったあとの良い趣味になっています。
- ③ 自分でも市民農園を借りて野菜を育てるので、講義の内容をすぐ活かすことができます。移住者の方にもぜひ参加してほしい、田舎暮らしの良さを知ってほしいですね。